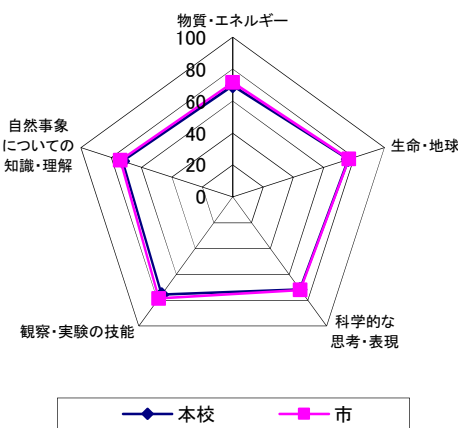


宇都宮市立国本中央小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	69.7	71.6	67.4
	生命・地球	76.3	76.6	75.5
観点別	科学的な思考・表現	71.7	72.1	68.8
	観察・実験の技能	75.7	78.7	76.3
	自然事象についての知識・理解	72.5	73.9	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○ミウバンの水溶液の重さを求める問題では市の平均より11.5ポイント、ミウバンが水に溶ける量をグラフから読み取る問題では、6.5ポイント上回った。 ●ふりこの振れ幅を変えたふりこの周期の問題では、市の平均より11.8ポイント、ふりこのおもりの重さに関する実験操作の問題では、9.5ポイント下回った。 ●水溶液の性質で、食塩水をリトマス紙につけたときの色の変化の理解では、市の平均より15.2ポイント下回った。	・グラフの様子から状況を読み取る問題については、理科だけでなく、算数や社会の学習等を通して、丁寧な指導を行ってきた。今後も下学年からの意図的な指導を継続していくようにする。 ・振り子の振れ幅の違いに関する実験結果のまとめを明確にすることで、実験操作と結果を結び付けて考えられるようにする。 ・食塩水の性質に関する実験結果を、リトマス紙の色の変化で表にまとめる等、工夫して表せるようにし、理解の定着を図るようにする。
生命・地球	○月の形から、太陽がある方位と観察した時刻を指摘する問題では、市の平均より4.6ポイント上回った。 ○人の胎盤についての理解は、市の平均より3.6ポイント上回った。 ●人の受精卵と生まれる子どものおよその大きさについての問題では、市の平均より9.8ポイント下回った。	・月や太陽の形や動き方の理解を促すために、映像資料を活用したことが効果的だった。今後も観察の難しい学習内容についてはICTを活用していくようにする。 ・人の胎盤については、保健の学習と関わらせて理解を促した。今後も養護教諭と連携した指導を実施し、理科の学習での理解を深められるようにする。 ・人の受精卵と生まれる子どものおよその大きさについては、映像資料や模型等を活用して、理解を促すようにする。